

## シラバス参照

## 社会文化システム特論

## Special Lecture on Social and Cultural Systems

担当教員：渡辺 文生(WATANABE Fumio)

担当教員の所属：社会文化システム研究科

開講学年：1年,2年 開講学期：前期 単位数：1単位 開講形態：講義

開講対象：博士前期課程 科目区分：大学院共通科目

## 【授業の目的】

本授業は、社会と文化を1つのシステムとして統合的に理解する視座の下、専門分野の枠に囚われず自由に思考し、人間と社会の将来を展望するために必要な、幅広い基盤的知識を身に着けることを目的とする。

## 【授業の到達目標】

- 1) 社会と文化を1つのシステムとして理解することができる。
- 2) 人間と社会の将来を広く展望することができる。

## 【授業概要（キーワード）】

社会、地域、文化、人間、学生主体型授業

## 【科目の位置付け】

本講義は、社会や文化を様々な視点から理論的に考察することで、健全な批判精神に裏打ちされた幅広い知識を習得するものである。

## 【授業計画】

## ・ 授業の方法

社会と文化に関する概論を受講した後、~~人文社会科学部開講の公開講座の録画を視聴し~~、社会と文化に対する多様な視点を学ぶ。最終回の講義では、作成した5つのレポートをもとに全体討論を行う。

WebClassで配布する資料をもとに、

## ・ 日程

- 第1回 社会と文化
- 第2回 社会と文化に対する多様な視点1
- 第3回 社会と文化に対する多様な視点2
- 第4回 社会と文化に対する多様な視点3
- 第5回 社会と文化に対する多様な視点4
- 第6回 社会と文化に対する多様な視点5
- 第7回 討論と総括

~~※注意事項：第2回から第6回は100分授業となる~~

## 【学習の方法】

## ・ 受講のあり方

授業ごとに示される課題を専門分野の枠に囚われることなく考察し、自らの意見をレポートにまとめて提出する。

**・授業時間外学習（予習・復習）のアドバイス**

社会や文化を観察するために必要になる視点について知識を深めておくことが予習となり，総合討論に向けてレポートに修正を加えることが復習となる。

**【成績の評価】****・基準**

社会と文化との関係を多彩な視点から捉え，自らの思考を論理的にまとめているかをレポートで評価し，人間と社会の将来について他者の意見を踏まえて合理的な方向性を見出すことができるかを総合討論から評価する。

**・方法**

レポート(15点×5=75点)，総合討論に対する積極性及び内容(25点)とする。

**【テキスト・参考書】**

はWebClassで

授業で使用する資料やプリントは授業時間中に配布するため，事前に学生が用意するものはない。

**【その他】****・学生へのメッセージ**

~~・第2回から第6回は100分授業となるので注意するように。~~

・内容は理解しやすいが，学生諸君にはそこからの論理的な展開を期待しているため，毎回のレポートは必ず提出して頂きたい。

**・オフィス・アワー**

火曜日 14:40～16:10 人文社会科学部3号館3階共同研究室301-B

上記時間帯以外でもアポイントによって対応します。

fumio@human.kj.yamagata-u.ac.jp

10701003-2020-11-19053

[別の条件でシラバスを参照する](#)